



2025年12月19日

札幌IR個人投資家向け会社説明会

株式会社ヤマザキ

東証スタンダード
札幌本則
福岡本則

証券コード **6147**

➤ 本年、札幌証券取引所及び福岡証券取引所に上場いたしました。

9月 札幌証券取引所 本則市場



8月 福岡証券取引所 本則市場



➤ なぜ札幌証券取引所に(重複)上場を？

「クライアントとの関係強化」
「北海道バレー構想への参入」



1 人材(人手)不足 対応

「自動化」技術の提供により人手不足時でも生産性を維持するお手伝い
(設備の省力省人化技術の提供により「自動化」を実現)

2 人口流出(減少)

雇用機会の提供を目指したい

ご当地企業とのコラボや営業拠点開設通じ、労働環境を創出したい

3 新技術開発

半導体製造分野における研究拠点を開設したい
(企業・大学等とコラボを目指したい)

4 札幌証券取引所

会社説明会に高い意識をお持ちの投資家が多数ご臨席

BtoB企業として、知名度向上とダイレクトに意見を拝聴したい

- 1 » 「ヤマザキ」ってどんな会社なの？

- 2 » ヤマザキの「強み」って何？

- 3 » ヤマザキの「今」ってどうなの？

- 4 » ヤマザキの「これから」は？

- 5 » その他トピックス

1

「ヤマザキ」ってどんな会社なの？
～ 会社概要 ～



1. 会社概要



本社

社名	株式会社 ヤマザキ
本社	〒431-3121 静岡県浜松市中央区有玉北町489番23号
資本金	972,195千円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 専用工作機械・設備 <ul style="list-style-type: none"> ー 加工用、組立用、検査用 ■ 専用工作機械用ユニット <ul style="list-style-type: none"> ー 標準ユニット（スピンドルヘッド、フィードユニット、ドリル・タップユニット他） ー 特注ユニット（マシニングセル、多軸ヘッド、タレットユニット他） ■ 省人・省力化設備 <ul style="list-style-type: none"> ー 自動化設備（ロボット・組立・組付・搬送・検査・プレ加工他） ■ アフターマーケット・ビジネス <ul style="list-style-type: none"> ー 設備転用改造・メンテナンス、その他 ■ 電子機器の製造販売 ■ 輸送用機器部品の製造 ■ その他
従業員数	318名(連結)／144名(単体)（2025年3月31日現在）
連結子会社	海外:1社

売上高(連結)	3,093百万円
営業利益(連結)	77百万円
株主数	3,722名
上場市場	東証スタンダード市場 札証本則市場 福証本則市場 (コード:6147)



テクニカルセンター

発表者の紹介

ヤマザキ ヨシカズ
山崎 好和

株式会社ヤマザキ
代表取締役社長執行役員

生年月日 1961年4月29日生まれ
出身 静岡県浜松市出身
趣味 ゴルフ
愛読書 司馬遼太郎, 一倉定
尊敬する人物 徳川家康
座右の銘 “喜神を含む”

略歴

1985年	当社入社
1997年	当社取締役就任
2010年	当社代表取締役社長就任
2022年	当社代表取締役社長執行役員就任(現任)



➤ 経営信条

経営理念

三方よし「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」

経営ビジョン

お客様に寄り添い 世界中で必要とされる

経営ミッション

生産活動に喜びをもたらす、「プレミアムな技術」のご提供

経営信条

1 お客様第一

お客様に寄り添い、お客様の立場で考え、
お客様の課題への最適な提案に努めます。

2 生産技術立社

生産技術の研鑽に努め、生産設備の最適化を提案します。

3 環境整備の徹底

規律・清潔・整頓・安全・衛生を徹底します。

4 グローバル化への対応

ベトナム子会社を東南アジア戦略の拠点とし、
輸送機器業界以外への進出を目指します。

ヤマザキのあゆみ

お客様に寄り添い
世界中で必要とされる工作機械メーカーへ

1946

静岡県浜松市に
「山崎鉄工所」として創業

1954

オートバイ部品の
受注を開始

1960

「株式会社山崎鉄工所」
を設立

1964

本社及び工場を
現在地に移転

1968

省力化機器の
製造販売を開始

1972

「株式会社ヤマザキ」に
商号変更

1987

第13回発明大賞功労賞
を受賞

1990

株式を店頭登録

1992

ヤマザキテクニカルセンター
完成



2004

ベトナムに連結子会社
「YAMAZAKI TECHNICAL
VIETNAM CO.,LTD.」を設立



(株)ジャスダック
証券取引所に株式上場

2010

大阪証券取引所JASDAQ
(スタンダード)に上場

2013

東京証券取引所JASDAQ
(スタンダード)に上場

2020

ラックランド、同子会社と
資本業務提携

ホーコス(機械メーカー)と
合併会社HYテクノロジーズ設立

2022

東京証券取引所
スタンダード市場に移行

2023

(株)山田製作所と業務提携

2024

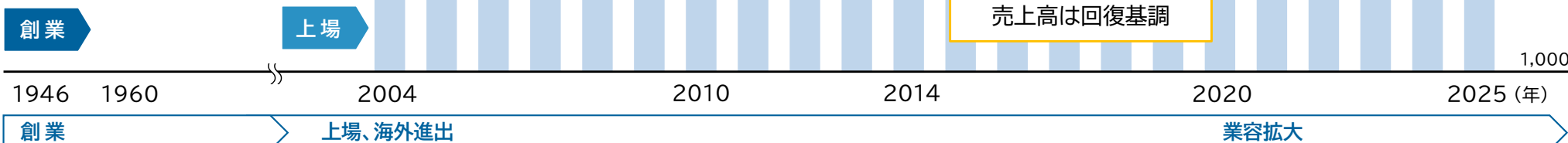
(株)ナガセインテグレックス
と業務提携

2025

札幌証券取引所 本則市場に上場
福岡証券取引所 本則市場に上場

< 売上高の推移 >

(単位:百万円)



➤ 拠点紹介



[ベトナム現地法人]

**YAMAZAKI TECHNICAL
VIETNAM Co., Ltd.**

Plot 27,28 Noi Bai Industrial
Zone Soc Son Dist,Hanoi,Vietnam



本社、工場

静岡県浜松市中央区
有玉北町489番23号

テクニカルセンター

静岡県浜松市浜名区
新都田4丁目4番3号

北海道出張所

北海道苫小牧市

関東出張所

神奈川県横浜市神奈川区
子安通3-341-1

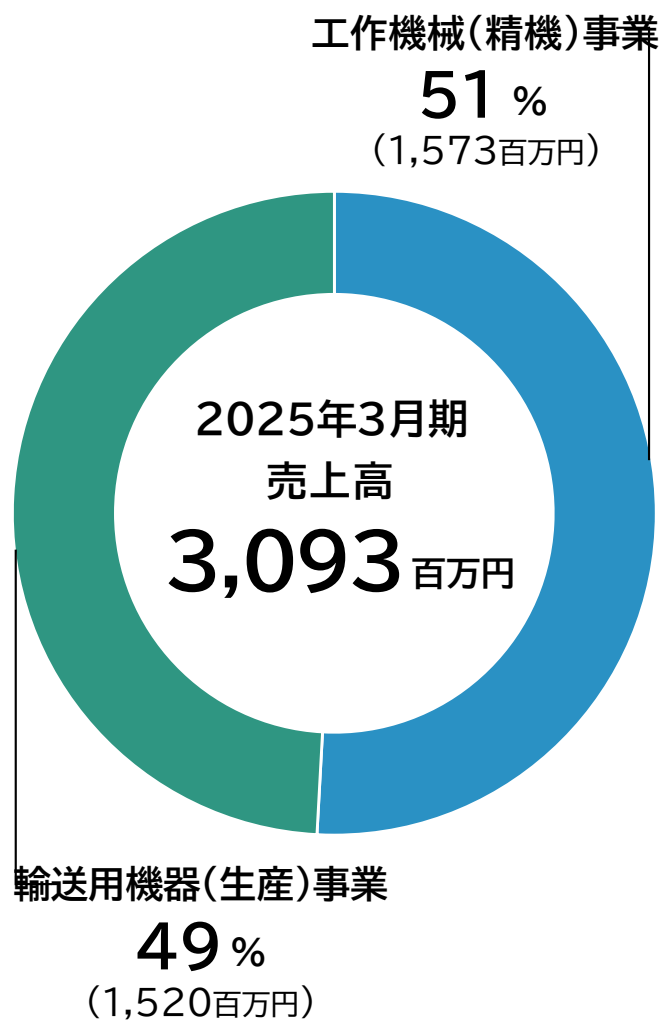
富士営業所

静岡県富士市松岡220-3

九州営業所

福岡県京都郡苅田町
鳥越町1-2 201

セグメント別売上高



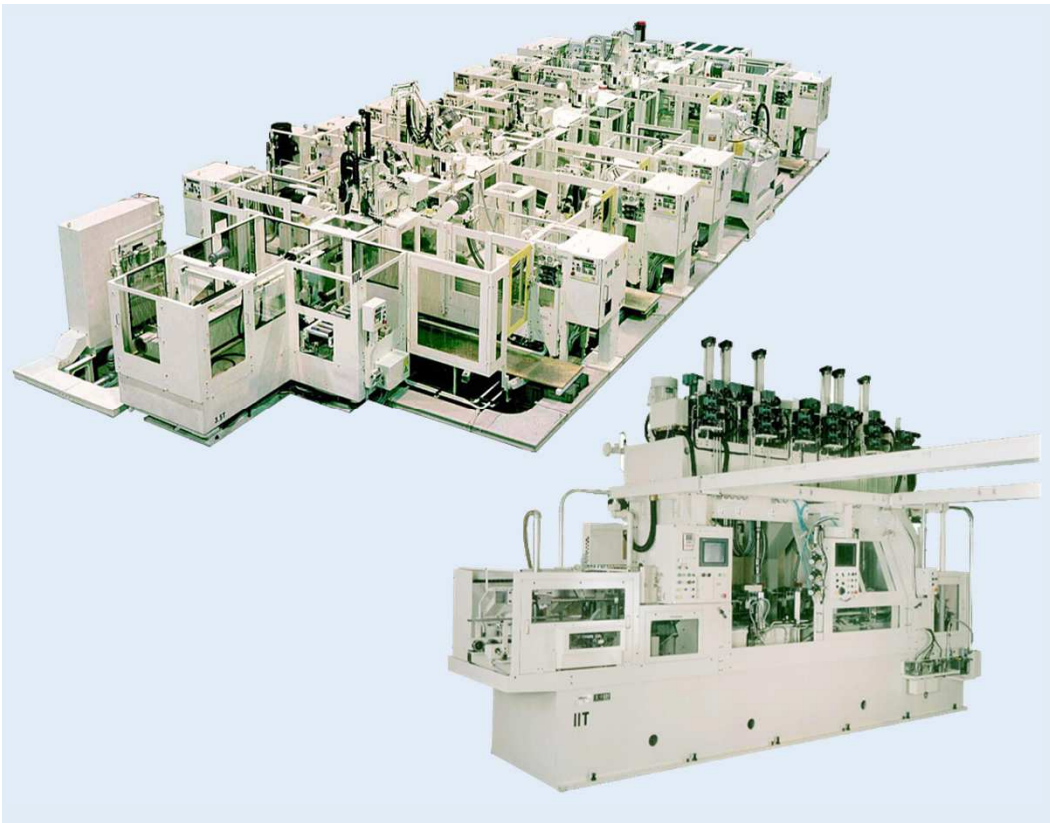
主要取扱製品

工作機械 (精機)事業	 専用工作機械	 ユニット
輸送用 機器(生産) 事業	 自動二輪車用量産部品	 四輪自動車用量産部品

➤ 工作機械(精機)事業①

専用工作機械、マシニング、ホーニングマシン

主に自動車部品を作る専用のラインの製造・販売を行っております。



専用工作機械用ユニット※

工作機械の主要構成部を標準化したものであり、万一故障などのアクシデントが発生した場合でも、ユニットの交換によって対応することが可能です。



※FMSユニット・インデックステーブル・スピンドルユニット・
多軸ヘッド・タレットヘッド・ドリルユニット・タップユニット・その他

➤ 工作機械(精機)事業②

画像検査装置

接触式での測定が困難な部位や、不安定になりがちな目視による検査領域に挑戦。数多くの実績を積み上げています。



プレ加工設備 (バリ取りNCグラインダー)

鋳造やダイキャスト製法には、必ず不純物やバリ等の除去が必要となり、それらの除去には多くの労力がかけられてきました。『ヤマザキ』では、その工程さえも極限まで自動化し、生産性向上と作業環境の劇的な改善を両立させています。



➤ 輸送用機器(生産)事業①

MC／モーターサイクル部品

工程設計から、プレス、溶接、切削加工、表面処理、アッセンブリー供給までトータルな生産技術を提供。必要に応じてベトナムの拠点を使い、FTA(自由貿易協定)を活用した海外生産による製品供給も可能です。



主な生産品：大型バイクのブレーキやチェンジ部分
4輪バギー車の部品等

主要納入先：ヤマハ発動機様（納入遵守率100%）

➤ 輸送用機器(生産)事業②

AM／オートモービル部品

二輪車用部品中心から四輪車用部品へ展開
2022年1月より四輪自動車部品の量産を開始



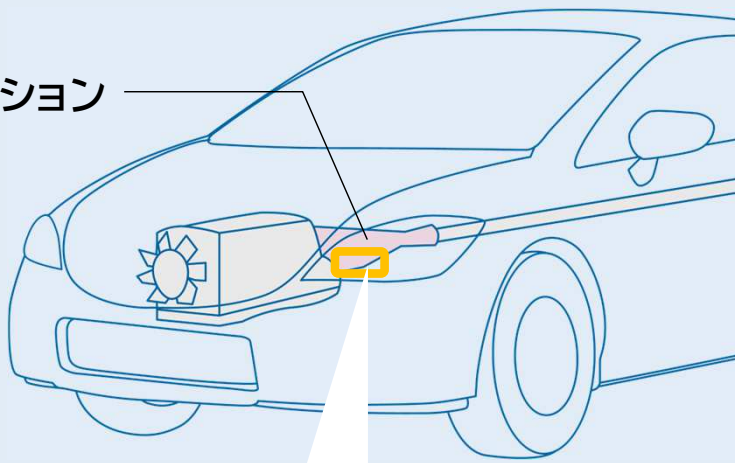
主な生産品：貨物自動車用部品
(ギヤケース、ベアリングキャップ、アジャストナット等)
主要納入先：IJTT 様



➤ 輸送用機器(生産)事業(海外)

四輪車用部品

ATミッション



コントロールバルブ
ボディ



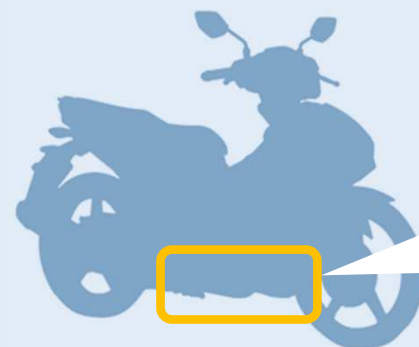
電動オイルポンプ
ベアリングハウジング

半導体関連部品



スリーブ
(半導体製造装置用)

二輪車用部品



ロータリー式
ミッション用カムシフト

➤ その他①

マイクロバブル技術

マイクロバブルとは微細な径の気泡(10~40 μ m)であり、液体への気体溶解性に優れています。マイクロバブルの活用範囲は幅広く、水質浄化、水産養殖、飲料水加工、医療分野など無限の可能性を秘めています。



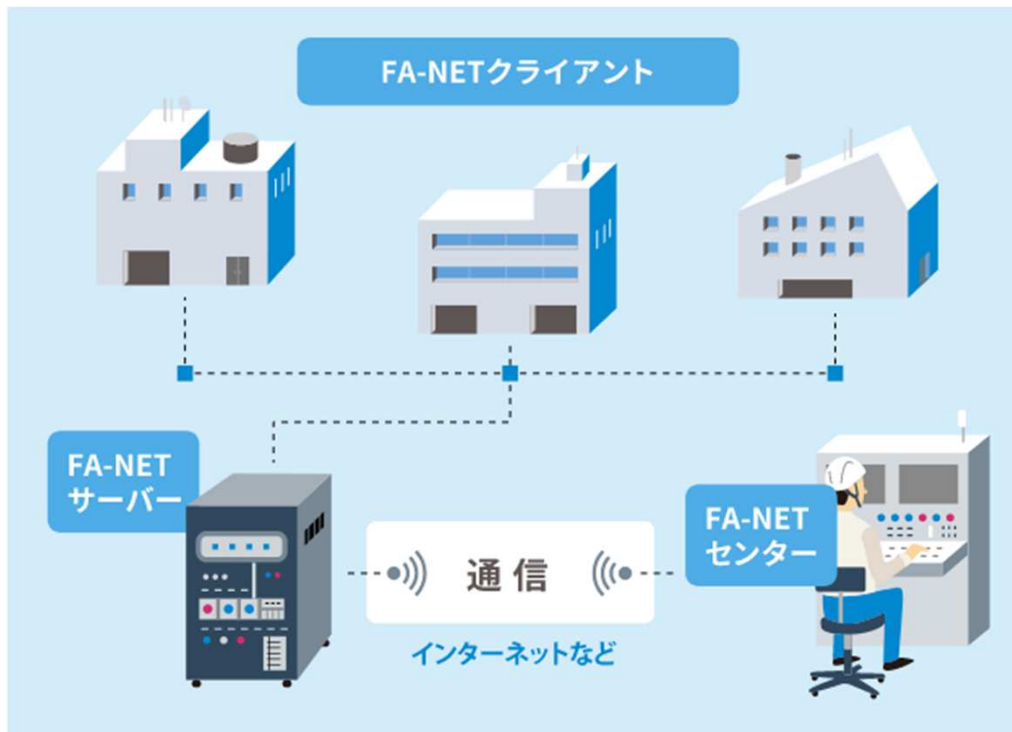
プルメーター (ツールホルダー保持力測定装置)

プルメーターは、マシニングセンターのツールクランプ力を測定する装置です。本機の電源を入れ、設備のスピンドルにセットするだけで測定が可能です。



➤ その他②

工作機械予防保全システム FA-NET



工場内の各種生産設備を一元的に監視する、マシン予防保全システムです。電流・温度・振動・レベルなど各種のセンサーから、常時データを取得してマシンを診断。各種データは、通信(インターネット等)でFA-NETセンターへ送られデータ解析が行われます。

『ヤマザキ』はマシンの状態を24時間サポートし、蓄積したノウハウで生産設備の加工精度維持と大規模停止の未然防止に貢献しています。

2

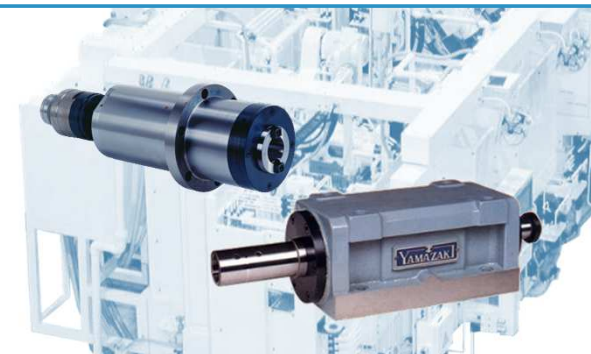
ヤマザキの「強み」って何？



➤ 当社の強み

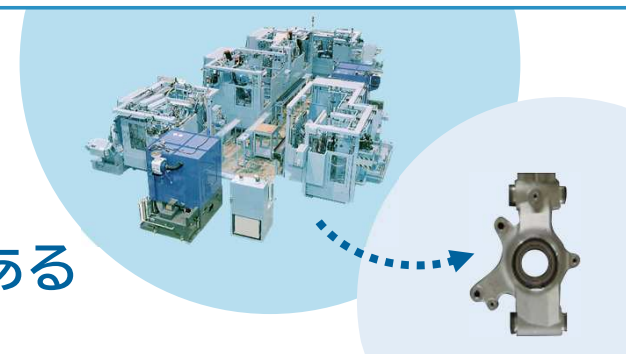
1

ユニットと呼ばれる
工作機械主要構成部のノウハウ保有
豊富な製品ラインナップ



2

工作機械部門と輸送用機器部門の両立
「工作機械部門(工作機械を作る部門)」と
「輸送用機器部門(工作機械を使用し生産する部門)」がある



3

設立60年以上に亘る納入実績
強固な顧客基盤



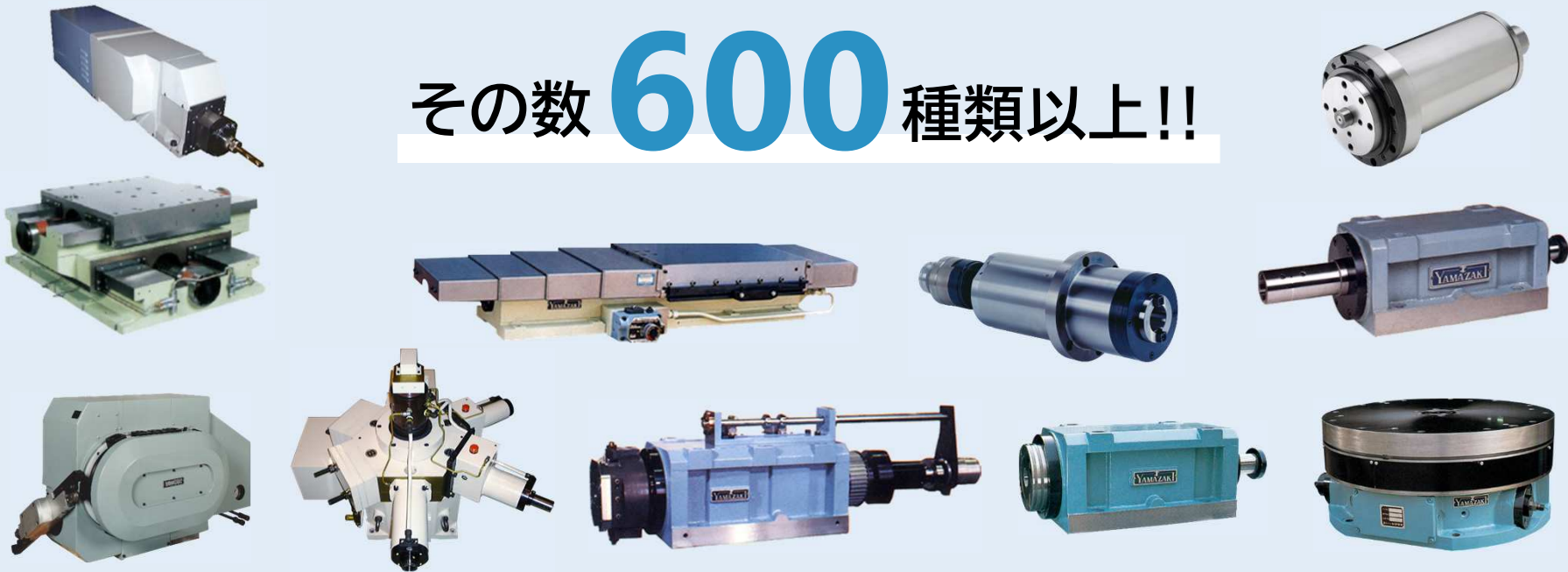
当社の強み

1

ユニットと呼ばれる
工作機械の主要構成部のノウハウ保有

豊富な製品ラインナップ

その数 **600** 種類以上!!



当社の強み | 2 「工作機械部門」と「輸送用機器部門」の両立

「工作機械を作る部門」と「工作機械を使用し生産する部門」がある



フィードバック
ブラッシュアップ

工作機械部門

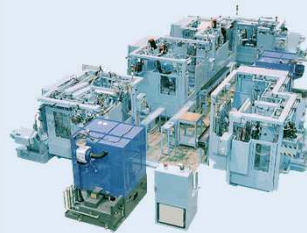
自社製品開発
オーダーメイド



工作機械を
自社使用



チェック



輸送用機器部門 (量産)



当社の強み | 3

設立60年以上に亘る納入実績

強固な顧客基盤



3

ヤマザキの「今」ってどうなの？
～2026年3月期の見通し～



➤ 業績(連結)

- 2024年3月期は販売が伸びなかったことにより営業損失を計上
- 2025年3月期は販売が増加し、四輪自動車量産部品の販売増加による収益規模の拡大等により、黒字に転換
- 2026年3月期はEV化の停滞および関税等の影響により、各社が設備投資を控えたことによる販売の減少等により、売上高、利益共に減少の見込み

(単位:百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	2026年中間期	2026年3月期(見通し)
売上高	2,496	3,093	1,266	2,534
営業利益	△97	77	△90	△2
営業利益率(%)	—	1.7	—	—
経常利益	△86	84	△99	5
親会社株主に帰属する 当期純利益	△33	57	△118	1
配当(円)	10	10	—	10

➤ 工作機械(精機)事業

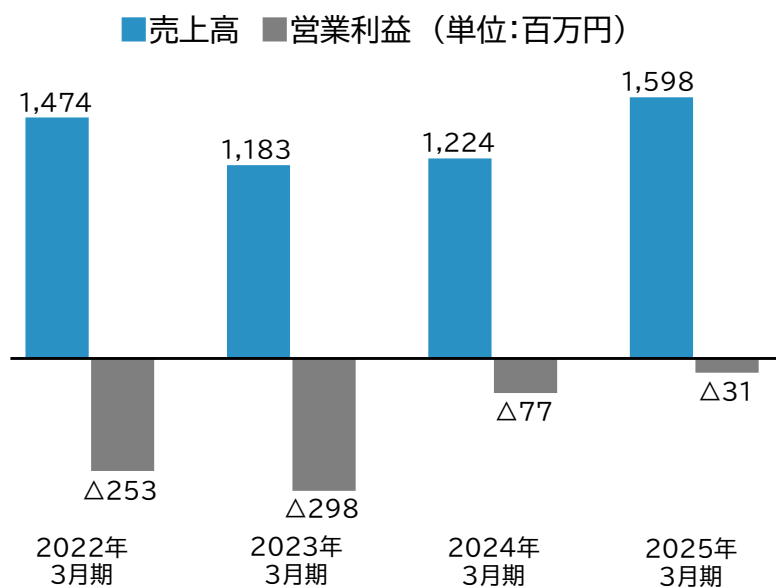
売上高

1,598百万円
前年比**30.5%**増

営業利益

△31百万円
前年は△77百万円

- 2022年3月期においては、新型コロナウイルスの影響による半導体不足の影響等により、赤字を計上
- 2023年3月期においては、取引先による設備投資の減少により販売が減少し、赤字を計上
- 2024年3月期においては、販売は減少したものの、人員の適正化や再配置による固定費の圧縮、原価管理の精度向上による受注損失の減少等により赤字幅を縮小
- 2025年3月期においては、半導体製品の販売増により売上が増加し、赤字幅をさらに縮小



➤ 輸送用機器(生産)事業

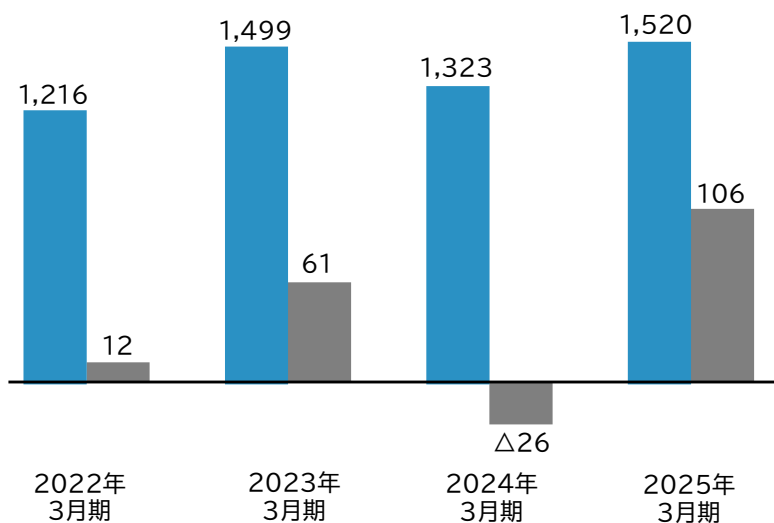
売上高

1,520百万円
前年比14.8%増

営業利益

106百万円
前年は△26百万円

■売上高 ■営業利益 (単位:百万円)



- 2022年3月期および2023年3月期においては、海外子会社も含めて売上、利益共に増加傾向
- 2024年3月期においては、販売先の生産調整による影響により、販売が減少し赤字を計上
- 2025年3月期においては、従来の二輪車量産部品に加えて、自動車量産部品の受注増加により、販売が増加、一部製品への価格転嫁もあいまって利益率がUP



4

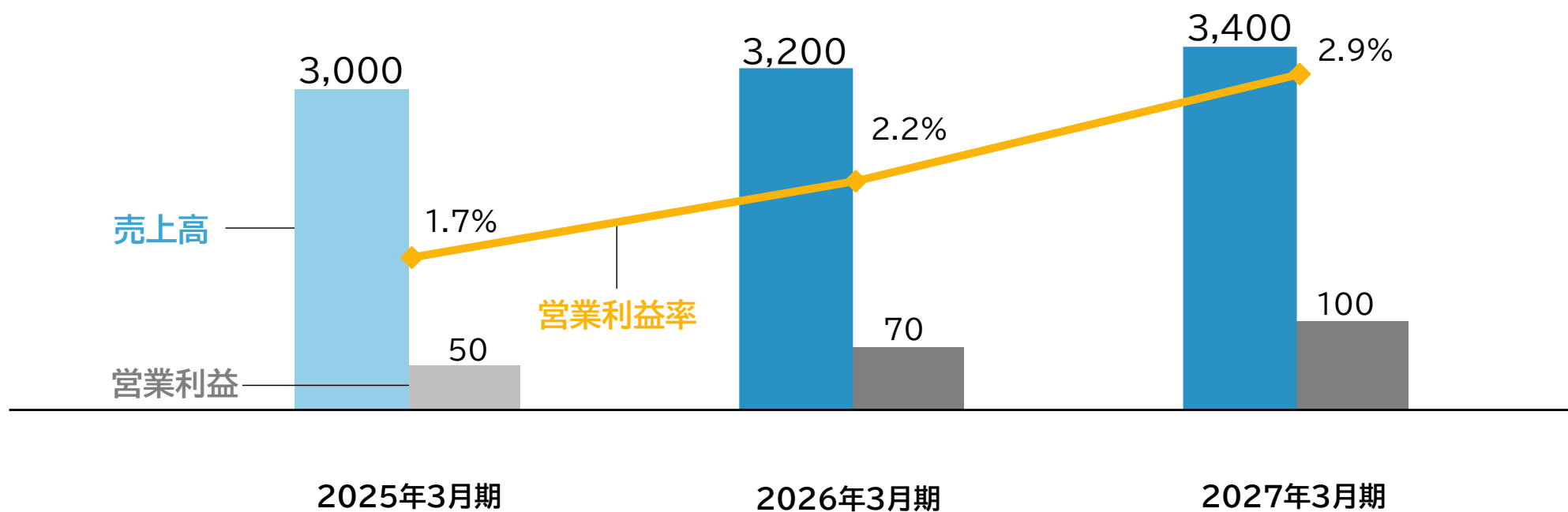
ヤマザキの「これから」は？ ～ 中期経営計画 ～



➤ 中期経営計画の数値

< 2024年7月19日 公表値 >

(単位:百万円)



➤ 中期経営計画の数値

2025年3月期 売上高および利益共に計画を上回った

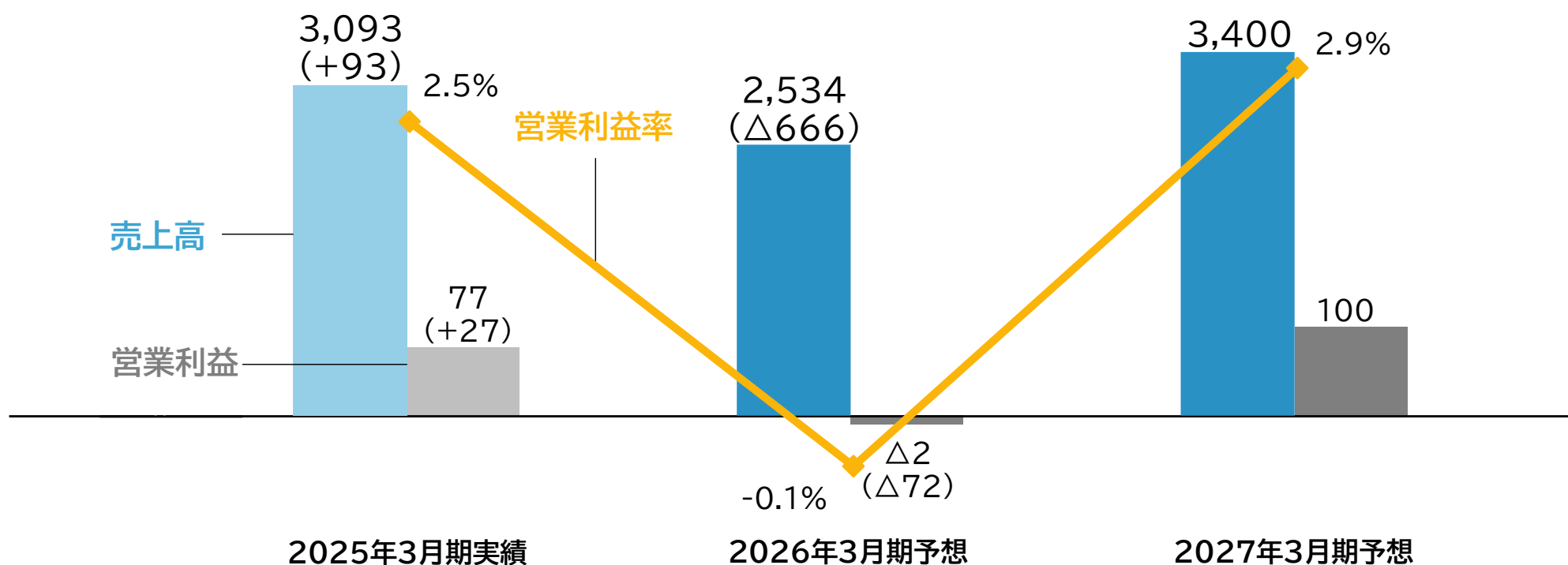
2026年3月期 売上高及び利益ともに計画を下回る見込み

2027年3月期 計画達成のため5つのmission(次ページ以降参照)を実施

< ※2025年11月4日 業績予想修正込 >

※括弧内は中期経営計画比

(単位:百万円)



➤ 中期経営計画を達成するためにやるべきこと



- 1 省力省人化設備 受託の推進 他社との業務提携推進
- 2 アフターマーケットへの積極展開 合併会社設立
- 3 半導体製造装置業界 製造販売の強化
- 4 MMSビジネス OEM生産
- 5 "超"精密(サブμ)への挑戦

工作機械(精機)事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 600種類以上のユニットと専門技術を駆使した提案型営業の強化 ■ 専用加工機メーカーから精機メーカーへ(より精密な製品を提供する) ■ メンテナンスビジネスの強化
輸送用機器(生産)事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2輪車部品以外の量産部品販売の強化 ■ EV化による4輪車部品形態の変化に合わせ、部品メーカーと連携強化
グローバル戦略	<ul style="list-style-type: none"> ■ ベトナムの現地法人を拠点としたアジア展開の強化

mission

1

省力省人化設備 受託推進 他社との業務提携推進

物流や生産工程の自動化対応機器の開発、製造、販売

製造業における労働力不足に対応するため、他社との業務提携を推進し、自動化対応機器の開発、製造、販売を目指す。

環境対策設備・拡充

作業者を悪環境から解放する技術開発（前項の自動化対応と関連）

SDC※のシリーズ化と拡販 ※Super Deburr Center:密閉型無人ロボットバリ取りシステム



内容

（株）山田製作所及び（株）ナガセインテグレックスと業務提携を締結しました

2023年5月に山田製作所と2024年5月にナガセインテグレックスと業務提携を締結しました。両社の技術を活用した生産工程の自動化対応機器の開発、製造、販売において相互にシナジーを発揮し、両社の成長を実現するため業務提携を行うものであります。

<掲載ホームページ> <https://www.yamazaki-iron.co.jp/ir/news/>



メンテナンスビジネス（アフターマーケット）

メンテナンスビジネスとは

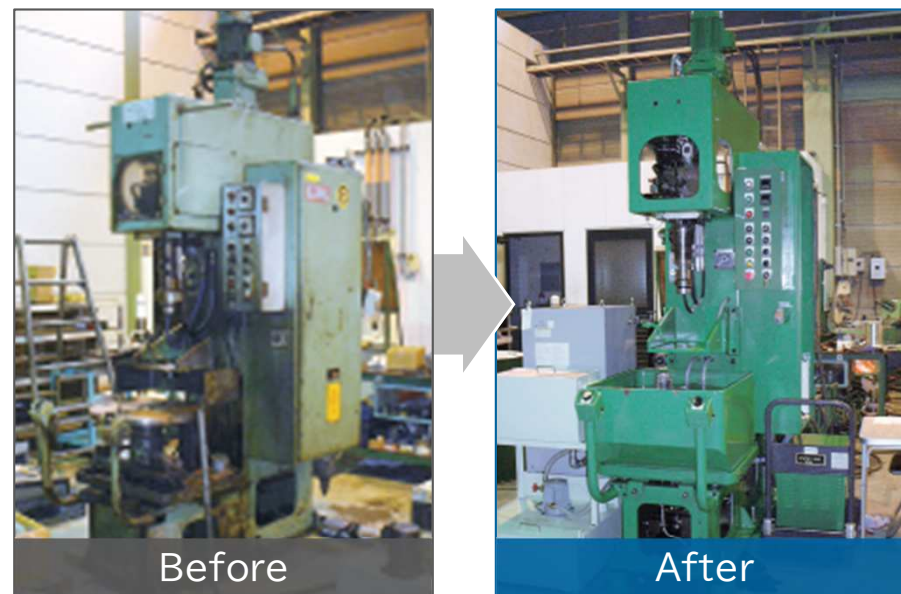
老朽化した設備をオーバーホール・メンテナンス・転用・改造し、生まれ変わらせる

内容

ホーコス株式会社と合併会社 「HYテクノロジーズ株式会社」を設立しました

両社は共同で、主にホーコス株式会社製 既存設備の「メンテナンス・改造・転用」を主ミッションに活動し、さらなる信頼向上と事業拡大を目的とする窓口として、新会社（HYテクノロジーズ）を設立しました。

<掲載ホームページ> <https://www.yamazaki-iron.co.jp/ir/news/>



HYテクノロジーズ株式会社

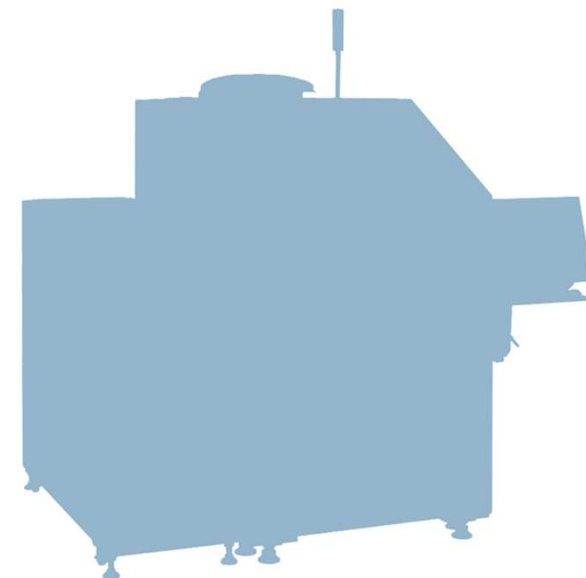




半導体製造装置

半導体製造装置の安定供給と付加価値増

個々の部品やユニットを組み合わせ、最終的な半導体製造装置として完成させる工程を担っており、安定供給とさらなる付加価値増を目指す。あらたな半導体製造装置部品の受注を目指す。



内容

クリーンルームを設置し、2024年5月より生産開始

単独の部署(RS生産課)を発足し、7名が在籍しています。



YAMAZAKI UNIT INSIDE

MMSビジネス (Machines Manufacturing Service)

MMSビジネスとは

「MMSのヤマザキ」として
ユニット＆マシンをOEM供給する



※ATC, APCも(お見せ出来ないのが残念です)

mission

5

”超”精密への挑戦

”超”精密への挑戦とは

”超”精密の実現は、メーカーにおける技術レベルを象徴し、今後ますます半導体・医療機器・光学機器製造でのニーズが高まってまいります。

当社では、**サブμ実現**を目指し、最新設備の導入や技術向上により、超精密への挑戦を続けています。

内容

(株)ナガセインテグレックスと業務提携を締結しました

当社及びナガセインテグレックスで所有する加工技術を活用し、さらなる高精度加工の実現を目指します。両社が保有する微細加工可能な高性能設備を使用し、他社では成しえない高精度の加工を実現させます。

<掲載ホームページ> <https://www.yamazaki-iron.co.jp/ir/news/>

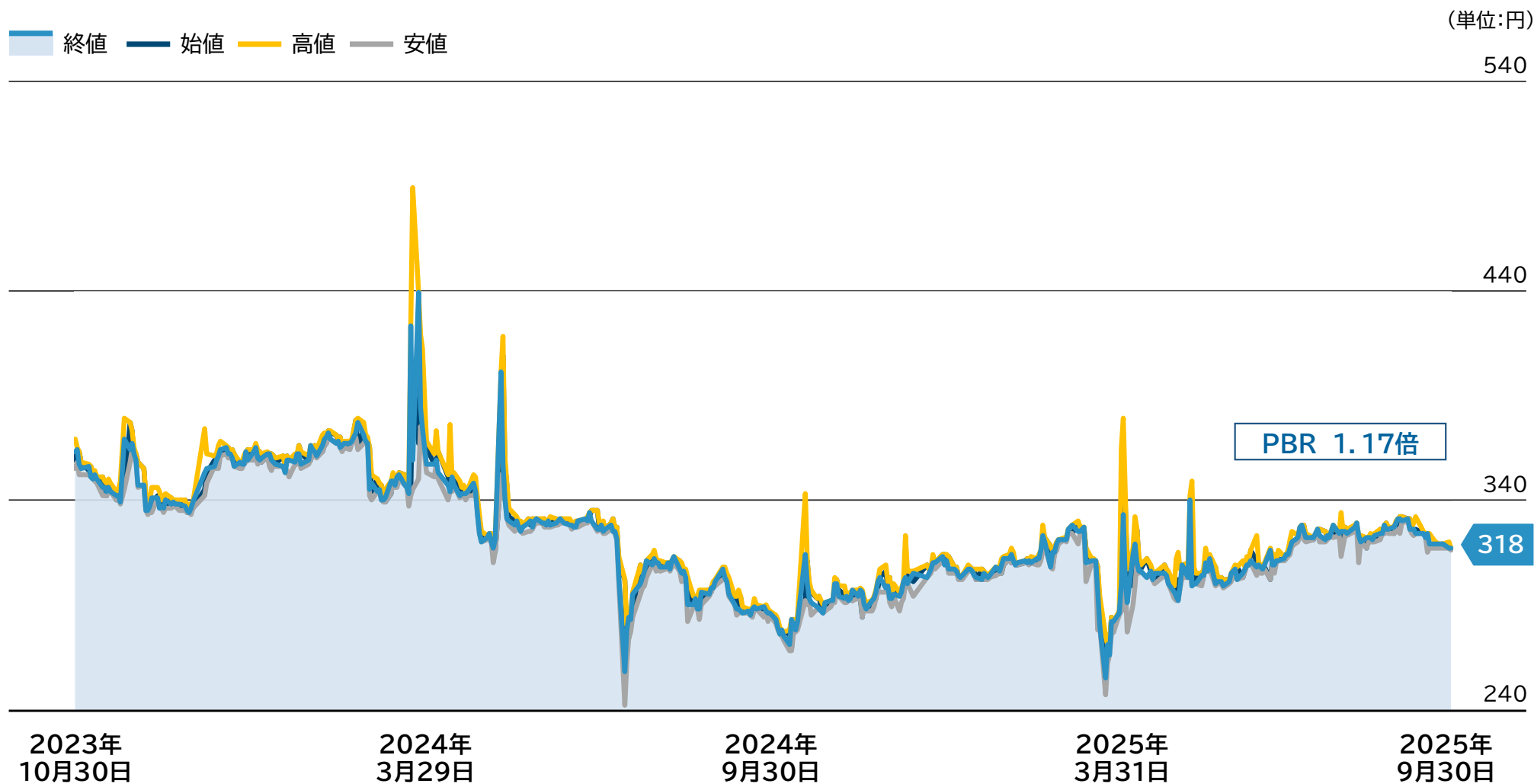


5

投資家の皆様へ(その他トピックス)



➤ 株価の推移

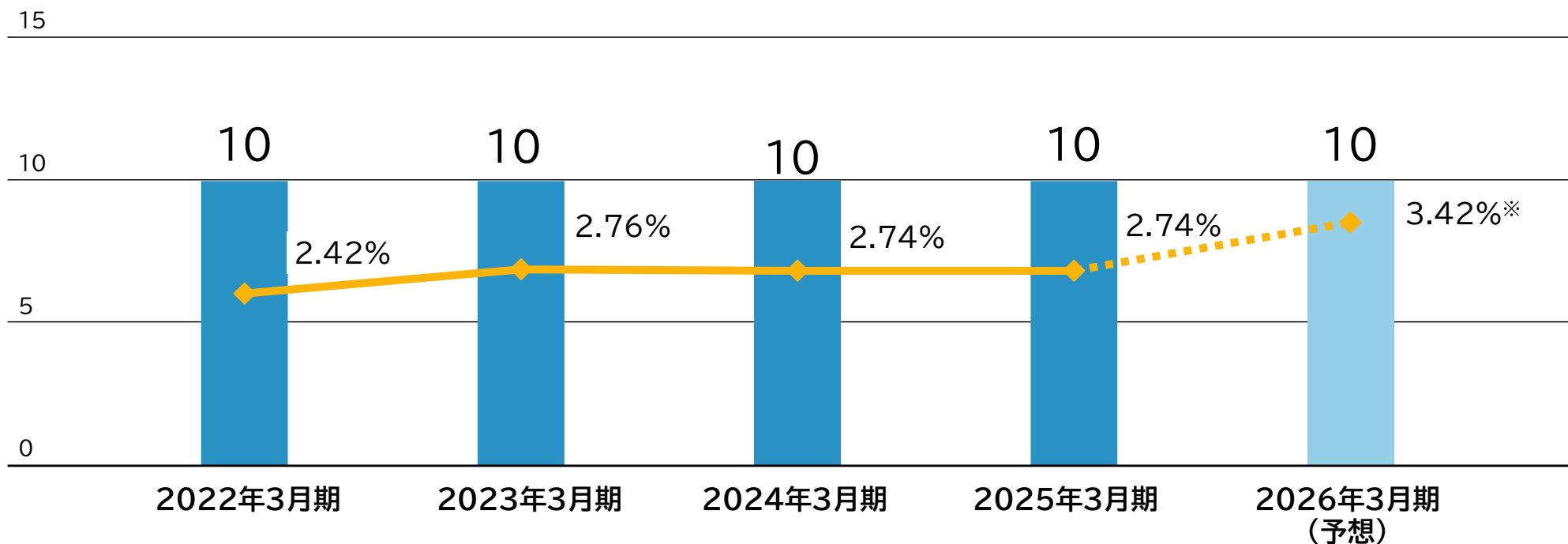


➤ 配当金

- 2026年3月期(予想)については、普通配当10円を予定
- 「株主優待」が個人投資家の皆様の大きな魅力であることは認識しております。今後、会社が一丸となって業績向上と企業価値の増大に努め、利益が安定的に出るようになりました暁には、株主の皆様のご支援にお応えする意味で株主還元を力を入れ、株主優待も検討していきたいと考えております。

(単位:円)

■ 配当金 ◆ 平均配当利回り = 1株当たり年間配当金 ÷ 年間平均株価(終値)



※2025年11月7日時点

➤ 地域社会への貢献

「浜松トップガン教育システム」に協賛しています



「浜松トップガン教育システム」とは

「浜松トップガン教育システム」は、児童・生徒がもつ理科、数学、技術(ものづくり)への興味・関心の芽生えを促進する多様な先進的プログラムを実施し、学校教育の参考にもなるモデルを構築することで、将来の科学技術を担う人材育成に貢献します。

小・中学生理科研究プレゼンテーションコンテストでは、株式会社ヤマザキ奨励賞として毎年表彰を行っています。



□新着情報

- ・トップガンジャーナル No. 90「倒立振り子のおもちゃづくり」が公開されました！
- ・トップガンジャーナル No. 91、94、97が公開されました！
- ・トップガンジャーナル No. 96「令和5年度科学の甲子園ジュニア」が公開されました！
- ・トップガンジャーナル No. 99「高校交流会・第10回 磐田南高校訪問」が公開されました！

□事業内容

小・中学生理科研究プレゼンテーションコンテスト

一次審査応募はじまりました！
7/1(月)から9/11(水)正午まで
応募は必ず募集要領の裏面を併せてください。
詳細についてはこちらをクリック
各様のご応募をお待ちしています

MATH やらまいか

今年度の決勝大会も
盛況の元終了いたしました。
たくさんのご参加をいただき
誠にありがとうございました。
詳細についてはこちらをクリック

卒業生による科学講座

トップガン卒業生による
課外講座の精選ページは
こちらから！

MATHやらまいか過去の予選問題

第1回～第10回の予選問題に
いつでも・誰でも挑戦できます！
ゲームはこちらをクリック！

課外講座募集案内

課外講座の案内は
こちらをクリック！

TopGunプロジェクト

お知らせ
トップガンジャーナル
理数クラブ
教員のための研修会
(理科・数学・ものづくり)

その他、過去のトップガンの活動報告については[こちら](#)からご確認いただけます。

出典:トップガンプロジェクト <https://topgun.ed.shizuoka.ac.jp/>

➤ 地域社会への貢献




「地域の祭典」に協賛しています。

毎年10月には100名以上の地域住民を迎え入れ、食事や飲み物を提供し、交流を深めています。



サステナビリティ

三方よし「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の経営理念のもと、
企業価値の向上はもちろん、持続可能な開発目標の達成も進めてまいります。

テーマ	マテリアリティ	SDGs
1 環境負荷低減	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境負荷も考慮した調達方針 ■ 設備転用改造、メンテナンス事業の展開 ■ 省人・省力化機器の製造販売 ■ ISO14001に関する継続的な取組 	
2 地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ■ 工場見学やインターンシップの実施 ■ 地域の祭典や教育機関への協賛 	
3 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ■ ベトナム子会社人材への教育 ■ 働き方改革の徹底や資格取得の奨励 ■ 産休育休取得の奨励 	

➤ 2025年9月11日、札幌証券取引所に上場いたしました。



2025年9月12日(金)

日本経済新聞

車部品のヤマザキ、札幌本則上場

自動車部品や工作機械を製造するヤマザキは11日、札幌証券取引所の本則市場に上場した。札幌への上場を通じて認知度を高め、北海道内での事業展開を加速させる。ヤマザキは半導体製造装置も手掛け、山崎好和社長は「最先端半導体の量産を目指すラピダスの取引を目標にしたい」と話した。

北海道新聞

ヤマザキ上場

札幌、本年度4社目
東証スタンダードと福岡証券取引所に上場する
岡田製作所事業のヤマザキ

札幌証券取引所の本則市場に上場した。半導体製造装置の製造販売も手がけており、知名度向上と事業拡大を図る。今後は道内での生産拠点の立ち上げも検討する方針だ。

札幌証券取引所

札幌への新規上場は本年度4社目、上場企業は66社になった。札幌の長野実理事長が同日、同社の山崎好和社長に上場通知書を交付。山崎社長は、次世代半導体の量産を目指すラピダス(東京)の千歳市進出に連れ「ラピダスの量産体制の充実に合わせて参入、取引をしていきたい」と抱負を述べ、「札幌の鐘」を打ち鳴らした。

同社は1960年設立。今年2月に苫小牧市に営業所を開設した。2025年3月期の売上高は30億9300万円。(加藤通花)

札幌証券取引所

➤ 2025年8月25日、福岡証券取引所に上場いたしました。



日本経済新聞 2025.8.19(火)

福証本則市場に
ヤマザキ上場
東証の基準厳格化受け
福岡証券取引所は18
日、工作機械製造や自動
車部品加工を手掛けるヤ
マザキが8月25日に福証
本則市場に上場すると発
表した。同社は東証スタ
ンダード市場に上場して
いる。東証の上場維持基
準の厳格化を受け、九州
で知名度を高めて個人投
資家を増やし、基準に届
いていない流通株式時価
総額の向上を図る。
ヤマザキは1960年
設立。工作機械、二輪車
や自動車の部品、半導体
製造装置などを製造して
いる。上場にあたり公募
増資は実施しない。20
25年に福証で新規上場
するのは8社目。福証全
体の上場企業数は計12
2社となる。

読売新聞 2025.8.19(火)

ヤマザキが
福証上場へ
輸送用機器
福岡証券取引所は18日、
輸送用機器事業のヤマザキ
(浜松市)について、本則
市場への上場を承認したと
発表した。25日に上場する。
二輪車用部品や専用工作
機械の製造などを手がけ、
福岡県苅田町にも営業所を
設けている。2025年3
月期連結決算の売上高は30
億円だった。東京証券取引
所スタンダード市場にも上
場しており、重複上場とな
る。福証の本則市場への上
場は今年5社目、いずれも
重複上場。

➤ 免責事項及び将来見通しに関する注意事項

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社ヤマザキ(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、本日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。



株式会社ヤマザキ

ご清聴いただき、誠にありがとうございます。